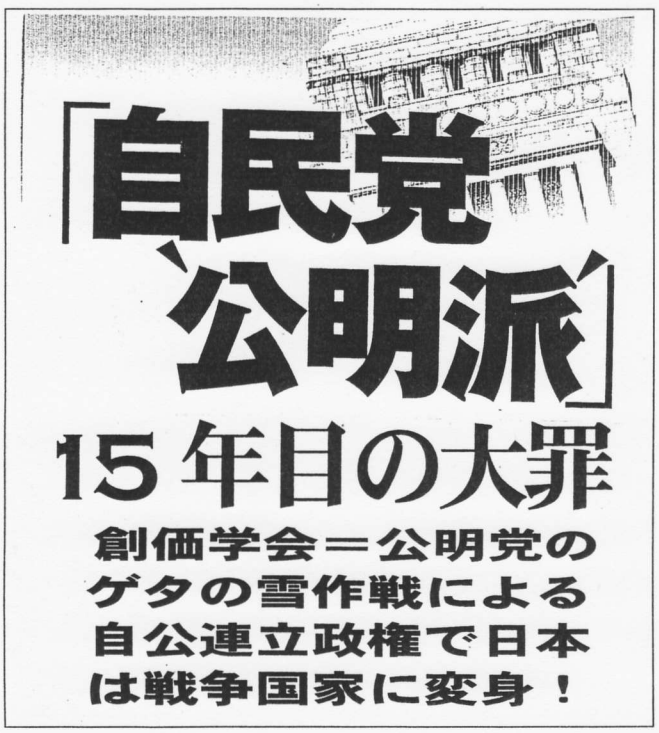
「自民党‘公明派’」15年目の大罪

―――集団的自衛権＋特定秘密保護法への二人三脚

古川利明（元毎日新聞首相官邸担当記者）著　第三書館

定価 926 円＋税　A5 判 192P　8 月 5 日刊

集団的自衛権の行使というのは、日本にとって重要な国が A 国に攻撃されたとき、日本が攻撃されていなくても、A 国に対して日本が武力攻撃するということ。



つまり、

1．A 国に対しての日本からの先制武力攻撃、宣戦布告であり、

2．A 国からの報復攻撃があり、

3．日本と A 国の戦争が起こる。

ということなのに、安倍首相は、曖昧な発言で、誤魔化している。それを容認し続けるのが、平和の党こと公明党である。集団的自衛権行使に賛成の若者たちは、「尖閣防衛」の個別自衛権と,集団的自衛権を、混同している。

緊急出版！

公明党＝創価学会の自民党との執念の「ゲタの雪」連立政権の 15 年間が、この国をいかに危険なところへ、自民単独では到底達成でき得ないところへと導いて行ったのかを、明解に解説。

帖合	第三書館　FAX03-3208-6623　TEL6668	
	冊	「自民党‘公明派’」15 年目の大罪 定価 926 円＋税 ISBN978-4-8074-1450-5